

バージョン: V4.0(2025/4/1)版

申請先: 一般財団法人全国地域情報化推進協会 事務局

「PF通信(PF通信機能)」製品 地域情報プラットフォーム準拠確認チェックリスト

※記入上の注意(詳細な記入ルールは、「チェックリスト記述説明」シートを参照してください)

オレンジ色網掛けセルは、必ず記入してください

黄色網掛けセルは、必要に応じ記入してください

APPLIC 登録番号: K000702-0021★APPLICで記載

※ 赤字部分は、V3.9からV4.0の変更箇所を示す。

(1) 対象標準とバージョン

APPLIC-0002-2025
・プラットフォーム通信標準仕様V3.4
・アーキテクチャ標準仕様V3.4

(2) 地域情報プラットフォーム準拠確認対象製品やシステムの情報と連絡先

(a) 申請日(西暦年月日): 2025年11月14日

(b) 申請区分(新規、修正、破棄): 新規

(c) 申請者

団体名: 株式会社シーイーシー

団体のURL: https://www.cec-ltd.co.jp/

APPLIC会員番号: K000702

★識別キー項目1
(識別キー項目4つでユニークになるように申請者が指定する)

(d) 製品情報

代表製品名: WonderWebLG

製品説明のURL: https://public.cec-ltd.co.jp/

複数製品で構成する場合追記:

複数製品で構成する場合追記:

複数製品で構成する場合追記:

★識別キー項目2
(オプション)
(オプション)
(オプション)
(オプション)

製品識別情報(バージョン等): Ver.6★識別キー項目3

リリース日(予定)(西暦月日): 2025年6月17日

対応OS: サーバ: Windows Server 2021、クライアント: Windows 11 Professional

対応TCP/IPバージョン: Version 4

(e) 製品のクラウドでの提供について

提供の有無: 構築実績あり&サービス提供中

参考となる情報(オプション):

対応可能なネットワーク(オプション)

LGWAN:

専用線(閉域網):

インターネット:

(3) 地域情報プラットフォーム準拠確認チェック項目(準拠ルール)

製品を申請する対象を選択する(★識別キー項目4)⇒

確認欄への記入: ◎: 対応、○: 制約のあるもの(制約がある場合は備考欄に記載する)

				サイト内・外対応の PF通信製品申請							
				PF対応のSOAPミドルウェア製品申請		サイト内のPF通信製品申請		サイト内・外対応のPF通信製品申請			
番号	準拠ルール (番号(CS-RXXXXX)は、サービス基盤標準書に記載のある関連準拠ルールの番号)			必須／ 選択	サイト内／ 外／共通	製品・システム 確認欄	APPLIC 確認欄	製品・システム 確認欄	APPLIC 確認欄	製品・システム 確認欄	APPLIC 確認欄
1	【ミドルウェアの要件】プラットフォーム通信機能(PF 通信機能)										○
1-1	TCP/IPによる通信が可能であること (CS-R020001)			必須	共通					◎	
1-2	HTTPは、HTTP1.1を使用する (CS-R020002)			必須	共通					◎	
1-3	SOAPは、SOAP1.1を使用する (CS-R020003)			必須	共通					◎	
1-4	SOAP通信は、Basic Profile 1.0Iに準拠すること (CS-R020004)			必須	共通					◎	
1-5	サイト内における通信セキュリティを実現できること										
1-5-1	TLS 1. 2 (TLS 1.3はオプション) のサーバ認証が利用可能であること (CS-R050001)			選択	サイト内						
1-5-2	TLS 1. 2 (TLS 1.3はオプション) のクライアント認証が利用可能であること (CS-R050001)			選択	サイト内						
1-5-3	HTTPベーシック認証が利用可能であること (CS-R050001)			選択	サイト内					◎	
1-5-4	TLS 1. 2 (TLS 1.3はオプション) による通信路暗号が利用可能であること (CS-R050002)			選択	サイト内						
1-6	サイト間における通信セキュリティを実現できること			必須	サイト間					◎	
1-6-1	TLS 1. 2 (TLS 1.3はオプション) のサーバ認証が利用可能であること (CS-R050001)			必須	サイト間					◎	
1-6-2	TLS 1. 2 (TLS 1.3はオプション) のクライアント認証が利用可能であること (CS-R050001)			必須	サイト間					◎	
1-6-3	TLS 1. 2 (TLS 1.3はオプション) による通信路暗号が利用可能であること (CS-R050002)			必須	サイト間					◎	
1-7	添付ファイルのサポートができること (CS-R020006)			選択	共通					◎	
1-7-1	SOAP Messages with Attachments を利用可能であること (CS-R020007)			条件付き 必須(※)	共通					◎	
1-8	異常系処理に対応できること										
1-8-1	メッセージ送信側のSOAP処理系は、TCP/IP,HTTPレベルで検知した障害を、MEP実行系を持つ上位アプリケーションに通知できること (CS-R060005)			必須	共通					◎	
2	【サービス基盤の要件】プラットフォーム通信機能(PF通信機能)										○
2-1	標準仕様書で定義するXMLインスタンスの形式に対応できること (CS-R032001)			必須	共通					◎	
2-2	標準仕様書で定義するサービスインタフェース定義に対応できること			必須	共通					◎	
2-2-1	PF準拠のWSDL定義に対応するサービスインタフェースを提供できること (CS-R032003)			必須	共通					◎	
2-2-2	PF準拠のWSDL定義に対応し公開されるサービスを利用できること (CS-R032003)			必須	共通					◎	
2-3	標準仕様書で定義する電子封筒形式のメッセージを交換できること (CS-R020005)			必須	共通					◎	
2-4	標準仕様書で定義する添付ファイルの形式に対応できること (CS-R020006)			選択	共通					◎	
2-4-1	メッセージ本体格納型および添付型で添付ファイルを交換できること (CS-R020007)			条件付き 必須(※)	共通					◎	
2-5	標準仕様書で定義するデータ交換システムパターンに対応できること (CS-R020008, CS-R020010)			選択	共通					◎	
2-5-1	データ交換システムパターンをサポートする場合 (CS-R020008)、[Type1]、[Type2]、[Type3]、[Type4]、[Type5]のどれかをサポートしなければならない。(CS-R020009)			条件付き 必須(※)	サイト内					◎	
2-5-2	データ交換システムパターンをサポートする場合 (CS-R020010)、[Type1]、[Type2]、[Type4]の全てを使用できること。(CS-R020011)			条件付き 必須(※)	サイト間					◎	
2-6	標準仕様書で定義するメッセージ交換パターンと異常系処理に対応できること			必須	共通					◎	
2-6-1	メッセージ交換パターンとして、「リクエスト型受領Ackあり」「リクエスト・レスポンス型同期型レスポンス」「リクエスト・レスポンス型受領Ack＋非同期型レスポンス」の3つのパターンを利用できること (CS-R060001～CS-R060004)			必須	共通					◎	
2-6-2	メッセージ交換パターン処理系にて、障害を検知した場合、標準仕様書で定義する異常系処理を行えること (CS-R060006,CS-R060007, CS-R060009)			必須	共通					◎	

※「条件付き必須」とは、すぐ上の準拠ルール(選択)を対応とする場合、当該ルールへの対応が必須となることを示す備考欄(前提条件や制限事項について、「製品・システム確認」欄の○についての説明を記載してください)(オプション)